



ほけんだより 2月



令和2年2月3日

青梅みどり第二保育園保健室

『立春』暦の上では春を迎えます。が、まだまだ寒さや空気の乾燥は続きそうです。昨年と比べるとインフルエンザに罹ったお子さんが少ないのですが、月末から乳児クラスで下痢や嘔吐でお休みする子が続出しています。この時期、色々な感染症が発生します。保育園でも職員一同手洗い、衛生管理をしっかり行っていきます。ご家庭でも、早めの対応、石鹸、流水での手洗いをお願いします。

1月の感染症状況	罹患者数
インフルエンザ A	4名
溶連菌感染症	2名
ウイルス性胃腸炎	5名
ヒトメタニューモウイルス感染症	1名

<風邪の季節は、中耳炎にも注意しよう！>

中耳炎は、風邪などが原因で鼻水が多いときに、鼻の奥にばい菌がたまり、耳管から中耳へ感染が広がるためにおこります。耳の外側からばい菌が入っても中耳炎にはなりません。子どもが中耳炎になりやすいのは、風邪をひきやすい、耳管の形が、大人と比べて太くて短く、傾きも水平に近いので、菌が耳に入りやすいからです。鼻水はこまめに拭き取ってあげましょう。幼児クラスの子は、自分で鼻をかめるようにしましょう。

～家庭でできる鼻水ケア～

- ① 部屋を加湿しましょう。➡鼻の通りがよくなり、呼吸が楽になります。
- ② ガーゼや柔らかめのティッシュでやさしく拭き取る。
- ③ 鼻をかませる。➡ゆっくり、片方ずつ。
- ④ 蒸しタオルや吸入器を使う。



*小さいお子さんが機嫌が悪く耳を触るときは、中耳炎の可能性があります。熱が出ることもあります。



唇の荒れに注意！

唇をべろべろなめてしまうお子さんはいませんか？唇をなめると乾燥して、唇の周囲が赤くなり、皮膚もカサカサになります。乾燥をひどくさせないためには、就寝前などにリップクリームをぬったり、マスクをつけたりすると口の周辺の保湿にもつながります。

こうした習慣のあるお子さんには、なめないように声をかけ、こまめに皮膚の保湿を心がけましょう。



2月の保健行事

- 4日(火)乳児体測
- 5日(水)乳児健診
- 6日(木)幼児体測



保護者の方へ

現在、テレビなどで話題になっている新型コロナウイルスに関連した肺炎の予防について、東京都福祉保健局や市よりお知らせが来ました。過剰に心配することなく、手洗いマスクの着用など、通常の感染症対策に努めていただくようお願いします。外出した後は、石鹸と流水でしっかり手を洗いましょう。